



TITLE:

五月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

五月の天象. 天界 1929, 9(98): 284-287

ISSUE DATE:

1929-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161412>

RIGHT:

五 月 の 天 象

太 陽

月始めは金牛宮に在るも、21日より双子宮に侵入する。

| 日 | 赤 經 | 赤 緯 | 星 座 | 視直径 |
|----|-------|---------|-----|--------|
| 1 | 2時33分 | 北15度 1分 | ひつじ | 31分47秒 |
| 11 | 3 11 | 17 50 | ク | 31 43 |
| 21 | 3 51 | 20 9 | うし | 31 39 |
| 31 | 4 31 | 21 53 | ク | 31 36 |

太陽自轉軸の傾きが、次第に減すると同時に、赤道の位置も、益々視中心に近づき、月末には、殆んど之に一致する様になるので、太陽自轉の爲めに見ゆる黒點の運動は、丁度、一直線に東から西へ進む様に見える。

9日に皆既日食が起る。我國では同日午後部分食が見える。(279参照)

月

| 月の相 | 時 刻 | 星 座 | 視直径 |
|-------|---------------|-----|--------|
| 下 弦 | 2日午前10時25分30秒 | や ぎ | 29分42秒 |
| 新 月 | 9 午後 3 7 18 | ひつじ | 32 52 |
| 上 弦 | 16 午前 5 56 0 | し し | 31 44 |
| 満 月 | 23 午後 9 49 54 | さそり | 29 44 |
| 近地點通過 | 11 午前 5 6 | う し | 33 6 |
| 遠地點通過 | 26 午後 4 54 | い て | 29 26 |

今月は、6日午後8時に天王星に出會ふのが先づ最初で、それから相次いで、7日午後4時に金星と並ぶ。併し其の距離は随分懸け離れてゐる。次が9日午後10時に木星と、1度以内の距離に接近する。但し之れは、新月のため見えない。次いで11日午前3時に水星と出會ふが、日本からは駄目。14日正午に火星と並び、16日午前10時に海王星に出合ふと、此の遽しい歴訪が殆んど終つて、以後暫らくは遊星のゐない星の林を縫ふて進む。そして最後に、26日午前4時に土星に出會ふのである。

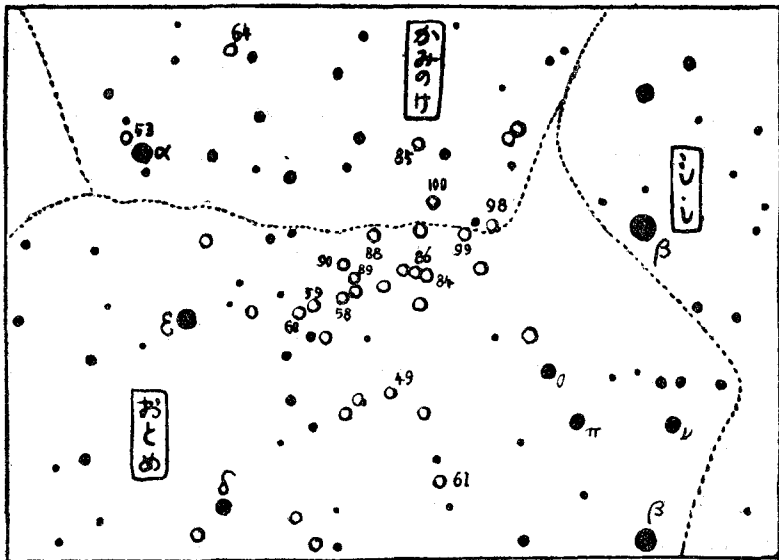
黄 道 光

今月一ぱいはまだ観測出来る。殊に金星や木星等の邪魔もなくなり、只

だ火星のみが天頂近くにあるが、光度も弱ひので左迄不都合ではない。

星雲と星團

夕方 9 時頃になると、「おさめ」が南中して、可成り高い所に位置を占める。此の「おさめ」と「しし」と「かみのけ」の三つの星座の境附近に可成り澤山の星雲や星團が雲集してゐる。若し 3 吋級の望遠鏡であれば其の内の大部分を認める事が出来る。尤も、光度の弱いものであるから、月のない時、空気の清い所である事は必要な条件である。

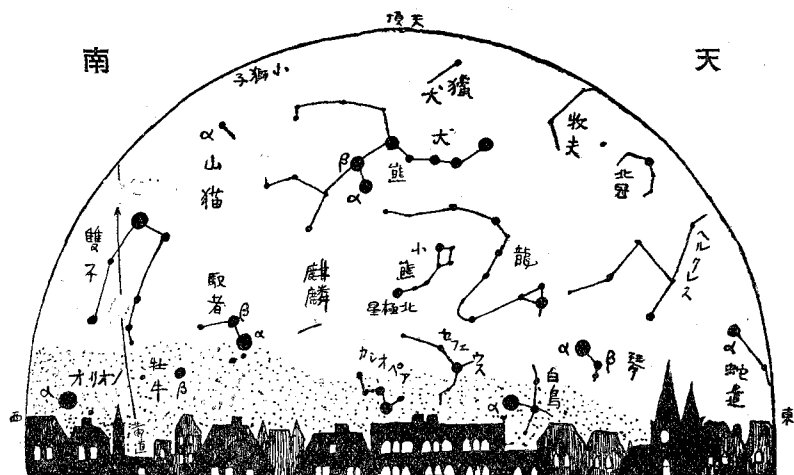


更に此處より約 10 度北の所にも可成り多くの星雲や星團が集まつてゐるから、此處を見られた序に、「かみのけ」座の γ 星附近も見られるさ面白からう。

又た、肉眼で見える星團では、少しまだ時期が早いけれども、M13 がある。位置はヘルクレス座 η 星と ζ 星との間約 3 分の 1 丈 η 星に近い所にある。

日 蝕

我國からは部分蝕しか見え、臺北で約六分即ち半分以上かけるけれど、九州では既に三分以下であるし、仙台より北では殆んど肉眼では認められない程になる。各地の蝕の終始の時刻は別稿を見られ度い。(279 頁参照)



遊 星 界

水星 宵の星、日没後約 1 時間西空に見える。月始め次第に太陽より遠くかつて、15 日には東方最大離角 22 度に及び、観望には甚だ都合がよい。其の頃の視直経は約 8 秒、光度は正一等。「うし」座にある。其の後も順行は續けてゐるが、次第に太陽に追付かれる。そして 28 日留となる。

金星 月始め逆行してゐるが 9 日に留となり、以後順行に移る。先月 20 日以後は段々視直経も少なくなつて來たが、月始め 53 秒、月末 36 秒である。併し月末になる程、太陽から遠のくのみでなく、光度も 26 日に最大光輝負 4 等となるので、其の頃は明けの明星として「うを」座を賑はす。

火星 宵の星。「ふたご」座の東端より順行して「かに」座の東端まで進む。視直経は 6 秒から 5 秒になる。光度は 1 等から 2 等に減する。

木星 14 日に太陽と合さなるので今月は駄目、

土星 「いて」座の銀河中を逆行してゐる。視直経は次第に大きくなり 16 秒で殆んど最大に近い。従つて此星の見頃は今月と來月とである。環の傾も殆んど最大で 26 度である。光度は約零等。

天王星 曉の星。「うを」座 44 星の東。光度 6 等。視直経 2 秒半。

海王星 宵の星。「しし」座主星に近い。